～　春日小は毎日が参観日　～

佐世保市立春日小学校　学校便り　　No.30（令和元年６月５日）

春のよき日

文責（校長　白濵忠昭）

1　運動会いかがでしたか。

「教頭先生、自分たちの組は負けたけど、運動会はとても楽しかったです。」

これは、運動会終了後、片づけをしていた**６年生のことば**です。教頭は感動し、職員に紹介しました。６年生は、５月の連休前後から、応援の振り付けや応援旗、スローガン作成などに知恵を出し合い汗を流して、**小学校最後の運動会**にのぞんでいました。当日は、応援だけでなく、徒競走やダンスも含めて、**学年が一丸となって全力を出し切った**のでしょう。まさに、スローガンに掲げた**「ナンバー１」**にふさわしい子どもたちでした。**今後もリーダーとしての活躍が期待できます。**



＜６年生の舞＞

この他にも、次のような子どもたちの姿を見ることができました。

- 運動が苦手で、練習を苦痛と思いながらも、毎回参加し、汗を流す姿（昨年度、見学しがちだった子どもが、頑張って参加していました。）
- 下校中に、練習で教わった応援の歌を何人かで口ずさみ、仲良く帰る姿
- 運動会の係の仕事に一生懸命取り組み、会がスムーズに進行できるように貢献する姿　など

子どもたちが**一堂に会して一つのものを創り上げる**ことができるのが、あらためて**学校の良さ**だと実感しました。

また、**ＰＴＡやおやじの会、地域の皆さん**には、早朝から準備の手伝いや場所取りの整理、最後の後片付けなど、大変お世話になりました。おかげで、大きなトラブルもなく職員が**運動会本来の業務に専念**することができました。ありがとうございました。

次の２点については、地域や近隣の交番から学校に連絡が入りました。**会の途中に放送を入れざるを得なかったことをご理解ください。次年度の課題**として、私たち大人が留意し、マナーを向上させ、子どもの良き手本となりましょう。

- 近隣の家や道路、溝にたばこのポイ捨てが見られたこと
- 桜木団地内外に無断駐車があり、住民の方にご迷惑をかけたこと

ご協力、よろしくお願いします。

２　「いのちを見つめる日」の講話

佐世保市では、６月１日を**「いのちを見つめる日」**と設定しています。今年度は、次のような講話をし、子どもたちに「いのち」を見つめる契機としました。

今日は、このぼろぼろのラグビージャージのお話をします。お話に出てくる主人公は、高校生時代の校長先生です。話の中では、昭（あきら）といいます。どんなお話か、静かに聞いてください。

昭はクラブ活動でラグビーをしています。ある日，友だちが、新しいラグビージャージを着て練習に来ました。真っ赤な色のとてもかっこいいラグビージャージです。昭は、「ぼくもそろそろ買いかえたいなぁ。」と心の中でつぶやきました。昭のジャージは、古いもので、破れたところに「ふせ」がしてあるからです。今まで何度も破れたのですが、その度に洗濯後に「ふせ」がされてもどってくるのです。（ジャージの写真は5/30ＨＰに掲載）～中略～

数日後、練習中に昭のジャージがまた破れてしまいました。「しめた、新しいものが買えるかもしれないぞ。」昭は残念がるどころか、新しいものが買えるかもという期待を持ちました。そして、「このくらいの破れではまた『ふせ』されてもどってくる。わざと大きく破いてしまおう。」と考え、こっそりラグビージャージを自分で破り、もって帰りました。数日後、大きく破れたところがまた祖母の手で「ふせ」がなされて、昭のもとに戻ってきました。昭はとても残念がりました。

その後、あまりにも古くなったラグビージャージを見て、昭の母が新しいものを買ってくれました。「昭、古いラグビージャージは捨てようね。」「あっ、お母さん、待って。」昭はなぜか古いラグビージャージを捨てることはできず、自分のタンスに入れておくことを母に伝えました。あれだけ、はやくだめになってしまえと思っていたのに……。

そして、そのラグビージャージを今もこうして持っています。先生の**宝物**です。２度と着ることはないのですが、タンスの隅に、箱に入れて大切にしまっています。みなさんにとっては、汚いジャージかもしれませんが、先生にとっては、**当時のわがままな自分**を思い出したり、**母や祖母の思いやり**を感じたりするからです。このように、みなさんの周りにある「モノ」には、**他の人は気づかない、いろいろな思い出や願いが詰まっているものがある**のです。　　～中略～

私たちの身の回りにある「ヒト」「モノ」「コト」には、そこに見えない、思い出や想い、願いなどが詰まっています。そこに気付く人は、優しさや思いやりのある言動ができたり、時として必要な我慢ができたりします。そして、自分のいのちや友達のいのちを大切にすることができます。

身の回りにある「ヒト」「モノ」「コト」、そこにつまっている見えない何かがあることに気付くことを心がけて、これからも生活をしていきましょう。

６月は、**いのちを見つめる強調月間**です。ご家庭でも、子どもとひざをつき合わせ、**「いのち」**について語り合われることを願います。



…… 切　り　取　り ……

※　ご意見，ご感想がありましたら、子どもたちを通して、ご連絡ください。